

英語ⅡB

必修

開講年次：1年次後期

科目区分：演習

単位：1単位

講義時間：30時間

■**科目のねらい**：「英語ⅡB」で培った作文力をもとに、英語で自分の考えや意見を論理的に表現できる力や研究レポート等を英語で表現できる力を身につける。英文の文章構成力を習得し、最終的にはエッセイレベルの長文を書く技術を身につけることを目指す。

■**到達目標**：①センテンスレベルで、英語の文の構造を正しく理解する。
②英作文における文章構成力を習得する。
③パラグラフを書く力をさらに発展させ、最終的にはエッセイレベルの長さの、論理的な文章を書ける力を身につける。

■**担当教員**：

松井 美穂 白土 淳子 一瀬 真平

■**授業計画・内容**：

- 第1回 オリエンテーション パラグラフの復習
- 第2回 Chapter 6: Expressing Your Feelings 例を挙げる
- 第3回 Chapter 6: Expressing Your Feelings 例を挙げる
- 第4回 Chapter 8: Studying More about the World 分類
- 第5回 Chapter 8: Studying More about the World 分類
- 第6回 Chapter 9: Why Are They So Popular? 理由
- 第7回 Chapter 9: Why Are They So Popular? 理由
- 第8回 Chapter 10: Why Have Fast Food Shops Become Popular in Japan? 原因と結果
- 第9回 Chapter 10: Why Have Fast Food Shops Become Popular in Japan? 原因と結果
- 第10回 Chapter 11: Comparing *Shogi* and Chess 比較・対照
- 第11回 Chapter 11: Comparing *Shogi* and Chess 比較・対照
- 第12回 Chapter 12: Things Can Be the Same; Things Can Be Different パラグラフからエッセイへ
- 第13回 Chapter 12: Things Can Be the Same; Things Can Be Different パラグラフからエッセイへ
- 第14回 Chapter 12: Things Can Be the Same; Things Can Be Different パラグラフからエッセイへ
- 第15回 まとめ

■**教科書**：*Writing Frontiers* 金星堂
その他資料等は適宜授業で配布する。

■**参考文献**：担当教員より初回授業において指示する。

■**成績評価基準と方法**：出席状況、課題提出、試験の結果などから総合的に評価する。出席：10% 平常点（課題、小テスト、中間試験等）40% 定期試験：50%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	○	文法力、文章構成力等を総合的に見て判断する。	50
小テスト・課題・中間試験等	◎	◎	◎	英作文の課題においては、学んだことが英作文にきちんと反映されているかどうかを確認する。課題は必ず提出すること。	40
出席				2/3以上の出席(出席が2/3に満たない場合、定期試験の受験資格を失い、単位を修得することができません)	10
その他				遅刻3回で欠席1回とみなす	

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：英語に関する全ての科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：授業には予習をして、英和／和英辞書持参で出席すること。辞書に関しては英和辞典以上の内容のものを使用すること（電子辞書も可、ただし携帯電話、およびスマートフォンの辞書機能は不可）。その他については、担当教員より指示する。